

3. 消防財政

1. 市町村の消防費

(1) 消防費の決算状況

消防費の決算状況は、下表のとおりである。

市町村普通会計及び消防費の決算状況

(単位：億円、%)

項目		18年度	17年度	増減額	増減率
普通会計歳出総額(a)	一部事務組合 を含む	17,662	17,805	-143	-0.80
消防費歳出総額(b)		1,044	1,035	9	0.87
(b) / (a)		5.9	5.8		
普通会計歳出総額(c)	一部事務組合 を除く	17,396	17,500	-104	-0.59
消防費歳出総額(d)		876	861	15	1.74
(d) / (c)		5.0	4.9		

また、消防費の市町村普通会計歳出総額に占める比率を市町村別にみると、最高は八千代市及び長柄町の8.4%であり、次いで大多喜町の7.7%、佐倉市の7.6%となっている。

(2) 1世帯及び住民1人あたりに支出した消防費

市町村における平成18年度消防費の1世帯当たり及び住民1人当たりの県平均額は下表のとおりである。

市町村別に見ると、1世帯当たりの額の最高は、芝山町の128,191円であり、次いで長柄町の110,132円、大多喜町の100,479円の順である。

一方、住民1人当たりの消防費を市町村別にみると、芝山町の37,752円を最高に、長柄町の32,865円、大多喜町の31,723円の順となっている。

1世帯当たり、住民1人あたりに支出した消防費の推移

(単位：円)

項目・年度		14	15	16	17	18
1世帯あたり	組合 含む 一部 事務	39,714	39,735	45,497	44,334	44,648
住民1人あたり		17,611	17,650	17,403	17,134	17,248
1世帯あたり	組合 除く 一部 事務	38,587	38,905	38,106	36,902	37,463
住民1人あたり		14,416	14,550	14,576	14,262	14,472

(3) 経費の性質別内訳

消防費の性質別内訳は、次の図のとおりであるが、消防費のうち人件費がかなり高い割合を占めており、全体に占める割合は 65.4%である。

平成18年度市町村別消防費性質別歳出決算額の割合（一部事務組合を含む）

単位：百万円

